令和6年度 年度評価結果表

施設の概要等	施設名称	健康パークあざい			
	施設所管課	健康福祉部 健康企画課			
	施設概要	○設置年 平成16年4月1日 ○設置目的 市民が心と身体のリフレッシュを図り、健康でいきいきと暮らすとともに、健康の増進と地域交流の拡大が図られることを目的とする。 ○構造 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)2階建(地下1階) ○規模 ①温浴施設 敷地面積20,835㎡ 建築面積903㎡ 延床面積1,183㎡ ②公園施設 敷地面積8,218㎡ 建築面積505㎡(回廊部分) 延床面積505㎡(回廊部分)			
	指定管理者名	株式会社日本水泳振興会			
	指定期間	令和6年4月1日～令和10年3月31日			
事業成果（令和6年度）	管理実施状況	管理運営業務	①施設の管理運営に関する業務に関すること ②施設及び附帯設備の維持管理に関する業務に関すること ③施設の使用許可、使用制限及び指導に関する業務に関すること ④施設使用料の徴収に関する業務に関すること ⑤災害時の危機管理体制の確保等不測の事態における対応に関すること ⑥その他市長が必要と認める業務に関すること		
		自主事業の実施状況	温浴施設利用者の減少を受けて、食事処の利用も落ち込み、これらを含む関連収益は全体として26.1%減少した。物産展や春祭り等、利用者の満足度向上を目的とした取り組みは継続的に実施しているものの、現状では売上増加には十分に結びついておらず、集客と収益の双方に効果的な施策が課題となっている。		
	利用状況	利用状況	令和6年度実績	令和5年度実績	特記事項(増減理由等)
			温浴:65,180人 公園:4,560人 合計:69,740人	温浴:67,025人 公園:5,219人 合計:72,244人	温浴施設については、近年ヒートショックを迎えていたサウナブームの沈静化に伴い、一時的に増加していた利用者が減少に転じたほか、利用料金の引き上げも利用頻度の低下に影響を与えたと推察される。また、夏の猛暑や冬の積雪による行動変容や無料で気軽に利用できる近隣の公園などにカジュアルな層が流れる傾向もみられ、公園利用
		利用者アンケートの結果	評価区分		
			実施概要	実施日: ①令和6年11月22日～同月30日 ②令和7年 3月22日～同月31日 回答総数:①33名(男12女21)、②44名(男20女24)	最多項目 満足度 評価 非常に満足度が高い
	結果		総合的な感想・受付スタッフの対応について評価は高く、概ね利用者の満足度は高い。	○ 満足度が高い	
	利用者の声をふまえ、反映した事項	利用マナーの啓発、老朽化している設備の修繕等		普通	
					満足度は低い
	収支状況	施設における収支	令和6年度実績	令和5年度実績	特記事項(増減理由等)
収入(千円)			84,140	81,633	収入(増): 指定管理料の増額、利用料金の増額 支出(減): 人件費や法定福利費等の支出抑制
(指定管理料)			25,691	22,174	
(利用料金収入)			47,503	47,230	
支出(千円)		82,686	89,703		
その他特記事項	指定管理料の増加が大きく、全体の収入増に影響している。一方、雑売上や温浴及び公園利用者は減少しているため対策が必要。人件費等に係る部分については、外注活用による「固定費削減＋柔軟性確保」の成果と評価できるが、今後は外注費の増加に注意が必要。				
年度評価	評価項目	主な評価の視点		配点	評価点
	①設置目的の達成の取組	施設の設置目的の達成、利用者サービスの向上		40	25
	②効率性の向上等の取組	経費の節減等、収入(利用者)の増加		25	21
	③適正な管理運営の取組	経理状況、管理運営費の実施状況、公共性・安全性等の確保		35	31
	合計			100	77
年度評価及びコメント	年度評価	令和6年8月より実施した利用料金の値上げによる利用者動向の変化により、温浴利用者数は前年度を下回る結果となったが、引き続き地域に開かれた施設運営を行い、健康づくりや交流の場としての機能を維持している。また、物産展や春祭り等、他指定管理施設を参考にした、利用者楽しんでもらえる工夫を重ねる姿勢も評価できる。一方で、売上には十分に結びついていない面もあり、今後は集客と収益のバランスを意識した運営改善が求められる。施設の維持管理については、適切な保守・点検を継続し、引き続き安心・安全に利用できる環境づくりをお願いしたい。			
	A				